

2) その他の血小板製剤の不活化技術

ドイツで開発中の UVC 照射のみによる不活化技術について情報収集中であり、CE-Mark 取得後に日本赤十字社による評価予定同法により 1 分間の UVC 照射で広範囲の病原体を不活化できると公表されている。

3) 感染性因子不活化効果

開発メーカー及び日本赤十字社による評価 (別添 1)

4) 凝固因子活性及び血小板等に及ぼす影響

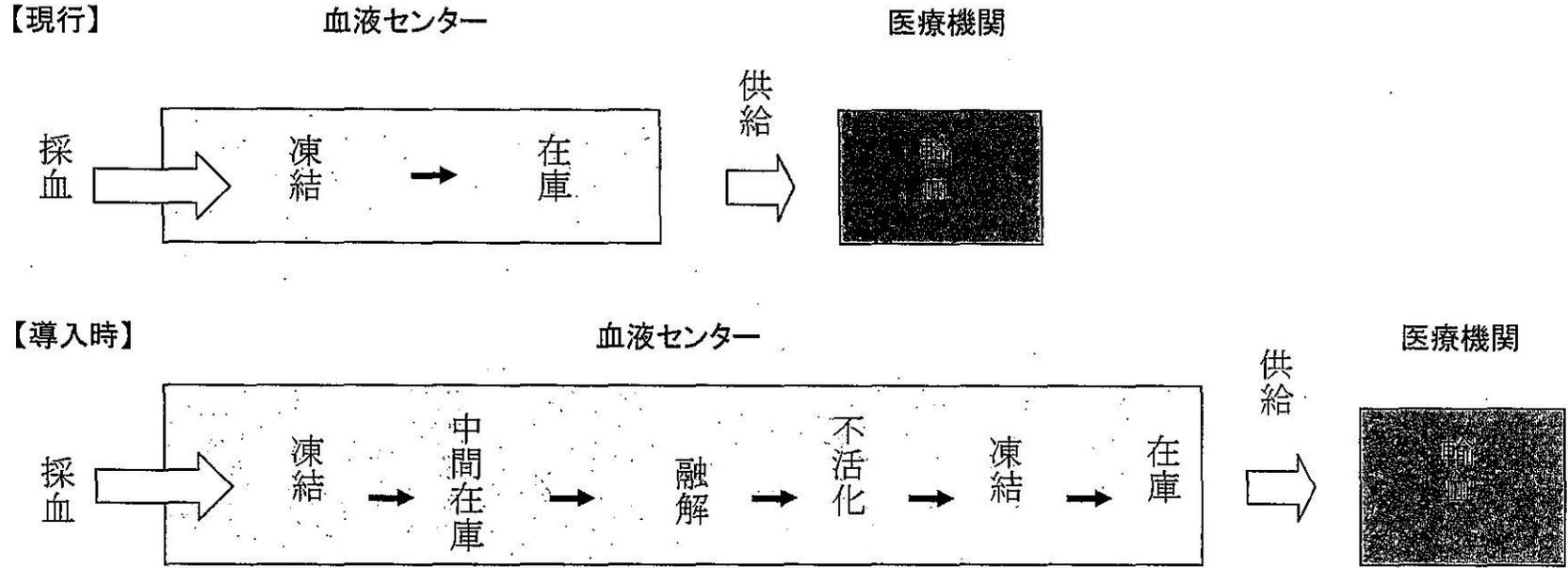
開発メーカー及び日本赤十字社による評価 (別添 2)

5) 感染性因子が不活化された製剤の安全性 (別添 3)

開発メーカーからの情報

6) 諸外国における不活化技術の導入状況 (別添 4)

7) 血漿製剤への不活化技術導入時における実作業について



【導入時の製造体制】 年間新鮮凍結血漿製造量 20万L(95万本)、1本の容量 210mL、一日あたりの製造本数 約4,000本

6~8時間以内

採血 → 凍結

製造規模	処理能力: 8本/時間/台
500本/日の血液センター	9台
	処理時間: 7時間
1,000本/日の血液センター	18台
	処理時間: 7時間